

製品名: ナトリウム・カリウム ATPase ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21036**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:113kD;Observed MW:100kD

抗原情報

遺伝子名	ATP1A1
別名	Sodium/potassium-transporting ATPase subunit alpha-1;Na ⁺ /K ⁺ ATPase alpha-1 subunit;Sodium pump subunit alpha-1;
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P05023;P50993;P13637;Q13733
免疫原	-

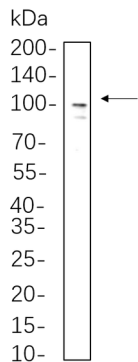
背景

細胞局在膜性。ATPase Na⁺/K⁺ 輸送サブユニット α 1 (ATP1A1) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、P型陽イオン輸送ATPaseファミリーのNa⁺/K⁺-ATPaseサブファミリーに属します。Na⁺/K⁺-ATPaseは、細胞膜を横切るNaイオンとKイオンの電気化学的勾配を確立し維持する役割を担う膜タンパク質です。これらの勾配は、浸透圧調節、さまざまな有機および無機分子のナトリウム結合輸送、神経と筋肉の電気的興奮性に不可欠です。この酵素は、大きな触媒サブユニット(α)と小さな糖タンパク質サブユニット(β)の2つのサブユニットで構成されています。Na⁺/K⁺-ATPaseの触媒サブユニットは、複数の遺伝子によってコードされています。この遺伝子は、α1サブユニットをコードしています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2009年5月]

研究分野

-

画像データ



A549全細胞ライセートを10% SDS-PAGEで分離し、膜をナトリウムカリウムATPaseウサギモノクローナル抗体(1:1000)でブロッティングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。